

# 高校生との意見交換会

令和3年11月15日

広島県立日彰館高校

三次市議会

広報広聴常任委員会

## 令和3年度 高校生との意見交換会 日影館高校

### 1 目的

三次市議会議員との交流、意見交換を通して、生徒の社会参加に対する意欲を高め、市政に参加することを実感させる。

### 2 実施日

令和3年11月15日（月）13：25～14：15（50分、5時限）

### 3 内容

参加者：議員23人 生徒67人

主権者教育の一環として、議員と交流を行う。5会場に分かれる。各会場では間隔を取って4～5グループ（議員1人に生徒2～3人）でグループワークを行う。時間いっぱい活用して議員としっかり交流をしてもらった。

各グループでは、議員が進行役を務める。事前に提出してもらった質問集を元に話題を展開し、生徒の発言を促しながら交流した。

主には「議会を身近に感じてもらう」ことを目的とし、自分も政治に参加できると実感してほしい。

意見交換終了後には、高校生及び議員にアンケートを実施。

教室	生徒	担当議員
3年1組	12人	大森, 山村, 重信, 徳岡
3年2組	12人	竹原, 齊木, 横光, 弓掛
23号教室	13人	小田, 鈴木, 藤井, 藤岡, 月橋
物理教室	15人	保実, 杉原, 黒木, 中原, 山田
多目的教室	15人	宍戸, 伊藤, 新田, 掛田, 増田

### 4 まとめ

今年はじっくりと1グループで意見交換を行ったことで、お互いの満足度も高かったようだ。事前質問集では、時節柄感染症に関するものも多くあったが、三次市全体に関することやまちづくりに対する疑問も多くみられたため、3年生として、三次市に対する関心が高まっているのだろう。また、高校生らしい素朴な質問も多くみられ、議員活動に興味をもってもらえたのではないだろうか。

※意見交換会では、換気や各自マスクを着用、手指消毒を実施するなど感染症対策を講じた上で実施した。

## 高校生からの意見に対する考察及び議員からのメッセージ

アンケートに書かれていた意見について、多かったもの等を選び、考察や生徒へのメッセージを考えました。

### 1 若者の住みやすいまちにしてほしい。

企業誘致で雇用を増やしたり、ICTなどを活用した新たな産業や起業を援助したり、稼げる農業を確立する等して若者の働く場を創出する事が定住につながり「住みやすいまち」となると考えます。議会としても行政の施策へ積極的にアドバイスしなければなりません。

趣味趣向、価値観も多様化している時代です。「住みにくい」と感じるどころや「住みやすく」なるためのアイデアをぜひ聞かせてください。

### 2 若者が戻ってきたいと思えるまちにしてほしい。

あなた達は小学校・中学校・高校と三次に住んでみてどんなことに感動しましたか。また、どんな楽しい遊びをしましたか。感動や楽しかった延長線上に新しい三次、あなた達の時代の三次が見えてくるのではないのでしょうか。

人に求めるだけでなく、あなた達自身が次代のリーダーとして、多くの人と繋がりを創り中心になってほしいと思います。そのためにも、多くの仲間や友人と議論すべきです。小さな声が政治を変え地域を変えたいと思います。

政治に関心がない人も、無関係ではられないのが政治です。まず、自分自身が思い続ける「志」を持ち、少しずつ仲間を増やし、声を大きくしていきましょう。あなた達ならできると思います。

### 3 若者の就職の場などが増えるとよい。(若者が働きやすいまちになるとよい)

若者の就職の場とはどのような職場を想定されているのでしょうか。自分がこれまで学生生活で培ってきた「得意」や「じぶんらしさ」が活かされる就職の場は、自分で生み出していくということも視野に入れていくことが、これからの時代には必要になってくるのではと思います。一つの発想や今ある既存の枠組みにとらわれることなく、想定外の様々な時代の変化とともに、柔軟に対応できるレジリエンス力をつけておくことで、自分らしく生きることができ、三次の町に多様性と新しい風が吹かせるのではと思います。今ある資源(人、自然、智慧など)を活用して、新しい時代の新しい働き方が皆さんから生まれることを期待しています。私たちも皆さんが三次で活躍できるように力になれるよう、しっかり道筋を作っていきます。

#### 4 今日（この意見交換会）を参考に政策や取組に活かしてしてほしい。

私の班では新型コロナウイルス感染症対策や、子育て支援に関して意見交換をしました。こども医療費助成や奨学金など、現在も支援策としてありますが、もっと拡充してほしいとの意見でした。実際に生徒の皆さんが困っていることや、将来このようになってほしいなど、高校生目線の具体的な意見を伺うことが出来ました。いただいた意見は予算や条例の審査に参考にしていくとともに、一般質問にて政策提言させていただきたいと思います。

最後の質問は「どうしたら市議会議員になれますか?」。自らも挑戦してみたいとの思いが伝わってきました。とかく政治に無関心といわれている10代20代。実際には市政や国も含めた政治に対して関心を持っているのがよくわかります。この意見交換会が政治参画するきっかけになればと思います。

当日の様子

